

CHAPTER  
01

「一生成長する力」で、  
新たな未来へ挑戦する。

【ビジョンと戦略】

ベネッセグループが自身の将来像をどのように描き、  
どのような決意で挑もうとしているのか。  
価値創造に向けた中長期的なビジョンと戦略を、  
ここにご紹介します。

# ベネッセの価値創造プロセス

事業活動と社会活動を通じた人々の「Benesse=よく生きる」の実現、そして社会課題の解決につながる新たな価値を創造しつづけることで、ベネッセグループと社会の持続的な成長を目指します。



## INPUT (2022年度)

### 財務資本

総資産 .....5,415 億円  
株主資本 .....1,523 億円

### 製造資本

塾・教室 ..... 2,204 拠点  
東京個別指導学院・アップ・お茶の水ゼミナール・鉄緑会・  
ベネッセビースタジオ・スタディーハッカーの合計

高齢者向けホーム  
および住宅 ..... 352 拠点

### 人的資本

連結従業員数 ..... 約 1.7 万人  
DX人材 ..... 約 1,200 人

### 知的資本

子育て・教育・介護の強力なブランド  
学ぶ力をつける教材・メソッド  
模試開発・採点ノウハウ  
独自の介護メソッド・仕組み  
教育分野における多角的な調査・研究

### 社会・関係資本

進研ゼミ延べ在籍数/学習データ  
..... 約 1,831 万人  
進研模試など延べ受験者数/テストデータ  
..... 約 910 万人  
Udemy国内利用者数  
..... 140 万人以上  
(2023年6月)  
高齢者向けホーム 入居者数  
..... 約 17,000 人

## 変革事業計画

### ポートフォリオ戦略

コア事業の変革  
(コア教育)

コア事業の変革  
(コア介護)

新たな成長への  
挑戦 (新領域)

マネジメントシステム変革  
コーポレート変革

横断組織DIP※中心に、  
DXを推進

※DIP: Digital Innovation Partners

### 財務KPI

営業利益\*  
FY25  
320億円以上

ROE  
FY25  
10%以上

新領域売上高  
FY22-25  
FY25時点で2倍  
(対FY22比)

+

FY28を目指す  
ポートフォリオ構造

「コア教育」  
「コア介護」  
「新領域」の  
3本柱でバランスよく  
利益を創出している状態

※今後行うM&Aから生じるのれんは含まず

## マテリアリティ (詳細は37ページ)

### パーパスの実現に向けて

多様化、多層化する学びに対する  
支援と意欲を高める教育の実現

学びを通じた企業の持続的成長と  
個人のキャリア開発支援

ご高齢者の“その方らしさ”の追求と  
介護をとりまく構造課題の解決

### 上記の事業を支える土台として

変革を推進する組織と人の育成

持続可能な地球環境の保全

誠実に社会・顧客に向き合う企業風土

## ベネッセグループパーパスの実現

誰もが一生、成長できる。  
自分らしく生きられる世界へ。  
ベネッセは目指しつづけます。

